

<広島県内の入選作家>

|陶 芸|赤毛敏男、今田拓志、
木村芳郎、松尾良弘

|染 織|平 恵子 |漆 芸|金城一國齋

|木竹工|小林松齋 |諸工芸|栗根仁志



伝統工芸展

第66回

The 66th
Japan Traditional
Kogei - Art Crafts-
Exhibition

陶芸 / 染織
漆芸 / 金工 / 木竹工
人形 / 諸工芸

360度、どこから見ても美しい。

会 期 令和2(2020)年

2月13日(木)～3月1日(日)

会期中無休

まもなく開幕！
イベント情報追加しました。

開館時間 9:00～17:00

※金曜日は19:00まで、入場は
閉館の30分前まで

※2月13日(木)は10:00開場

料金 一般 700円 (500円)

高・大学生 400円 (200円)

※中学生以下無料

※()内は前売・20名以上の団体料金



●JR広島駅より約1km ●広島城より約400m

●市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m

●ひろしまめいぶる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば
発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

【開催趣旨】

日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を、発展継承させることを目的に、昭和29年に創設されました。伝統的な「わざ」をベースとしながら、今日の生活に合った新たな技術、新たな表現を築き上げることを目標としています。広島展では、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の各部門から、広島在住作家の入選作8点を含む304点を展示します。人間国宝(重要無形文化財保持者)から新進気鋭の若手まで、日本を代表する工芸家たちの最新作をお楽しみください。

【展覧会の構成】

本展は陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門から構成されます。

I 陶芸

土器、炆器、陶器、磁器というように、やきものは原料とその性質から分類されます。さまざまな釉薬や上絵具による絵付け、窯の中で偶発的に発生する窯変など、バラエティに富んだ作品が一堂に並びます。

II 染織

染織は文字通り、染めることと織ることをいいます。木綿や絹、芭蕉や和紙などを素材として用いた、染めと織り、刺繍などによる色とりどりの着物が見る人を魅了します。

III 漆芸

漆芸は、東アジアや東南アジアで発達した東洋独特の工芸で、各地域で特色のある器や調度が作られてきました。漆の塗肌の味わいや光沢を活かした髹漆、貝を使った華やかな螺鈿など多彩な作品を展示します。



望月 集 花文大鉢「椿」
日本工芸会総裁賞



神谷 あかね 生絹着物「海の中のできごと」
朝日新聞社賞



三好 かがり 彩切貝蒔絵乾漆器「月の韻」
NHK会長賞

press release

IV 金工

金工は文字通り、金属による工芸をいいます。素材は、金、銀、銅、鉄、異なる金属を合わせた合金など。叩いて成形する鍛金、熱く溶かした金属を鋳型に流し込んで成形する鋳金、彫ったり鍍金したりして加飾する彫金など様々な技法による作品を紹介します。



般若 泰樹 吹分長方盤
日本工芸会会長賞

V 木竹工

木竹工は、木工と竹工をいいます。木工の技法は大きく分けて口口を使った挽物、削って形を作る割物、薄い板を曲げて成形する曲物、板状の木を複雑に組み合わせた指物などがあります。ケヤキや黒柿、松や黒檀など木の性質を活かして作品制作が行われます。竹工は、真竹や孟宗竹などをそのまま、あるいは細く割ってヒゴとし、編んで作品とします。



甲斐 幸太郎 栓拭漆三足器
文部科学大臣賞

VI 人形

伝統的な人形制作は木彫や桐塑、張子や陶磁製の陶胎があります。作品の背景にあるだろ物語や伝説はもちろん、衣装の布選びや小物まで、作者は工夫をこらしています。



北 芳子 木芯桐塑布紙貼「春の宵」
日本工芸会新人賞

VII 諸工芸

諸工芸には、ガラスや七宝、玉や象牙、截金や硯などが含まれます。ガラスの成形法には、型を使う方法と使わない方法があり、切子や腐蝕などで加飾します。七宝は銀や銅などの素地にガラス質の釉薬を焼き付けるもので、有線七宝、無線七宝、省胎七宝などがあります。メノウや水晶をくりぬいた玉、染めたり彫ったりした象牙（現在はマンモスの牙が多い）、線状に切った金箔などを貼ることで文様を表した截金、山口県や山梨県などが特産の硯といった多彩な作品をご覧ください。



河田 貴保子 泥釉七宝花入「律」
高松宮記念賞

【媒体掲載用の画像提供について】

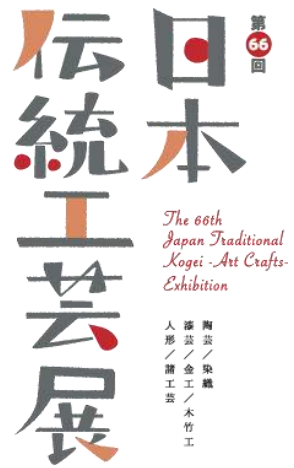
※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。

press release



【関連イベント】

伝統工芸に親しみ、楽しく学んでいただくための体験イベントやワークショップを多数用意しております。

講演会（共催：広島県立美術館友の会）

テーマ：「伝統工芸とは何か―作家の誕生と最前線―」

講師：外館和子（多摩美術大学教授）

日時：2月16日（日）13:30～15:00（開場13:00）

会場：3階会議室 ※都合により会場が変更になりました。

※定員100名（当日先着順）、聴講無料

出品作家による制作実演

日時・作家（分野）

2月15日（土）13:30～14:30 粟根仁志（七宝）

2月29日（土）13:30～14:30 今田拓志（陶芸）

会場：3階ロビー

※ 申込不要、観覧無料

子供ワークショップ「学芸員の仕事に挑戦しよう！」【受付終了】

一日目は展示プランの立案、二日目は保護者や一般来場者を前に展示室でギャラリートーク（作品解説）を行います。学芸員のタマゴ、この指とまれ！

日時：①【展示プラン立案】1月13日（月・祝）13:00～15:00（受付開始12:45）

②【ギャラリートーク】2月24日（月・祝）13:00～16:00（受付開始12:45）

※展示室で実際にギャラリートークを行うのは15:00～16:00

講師：福田浩子（当館学芸課長）

岡地智子（当館学芸員）

受付：3階ロビー

参加料：児童・生徒無料、保護者は入館券が必要

対象：小学4年生～中学3年生 ※①②の両日参加できる方

募集人数：6名程度

※ワークショップ参加は要事前申込（当館082-221-6246）

※子供ギャラリートーク聴講は申込不要。入館券が必要です。

press release



森本ケンタ ロビーコンサート

日時：2月23日(日)12:00～

※申込不要。鑑賞無料。1階 ロビーで行います。



学芸員等によるギャラリートーク

日時・講師(分野)

2月13日(木)11:00～隠崎隆一(陶芸)

2月14日(金)11:00～当館学芸員(全般)

2月15日(土)11:00～粟根仁志(七宝)

2月16日(日)11:00～平 恵子(染織)

2月21日(金)11:00～当館学芸員(全般)

2月22日(土)11:00～小林松斎(木工) / 13:30～木村芳郎(陶芸)

2月23日(日)11:00～しんたにひとみ(漆芸)

2月24日(月・祝)15:00～ワークショップ参加の子供たち

2月28日(金)11:00～当館学芸員(全般)

2月29日(土)11:00～今田拓志(陶芸)

3月1日(日)11:00～金城一国斎(漆芸)

所要時間：約40分

場所：3階企画展示室

※申込不要。入館券が必要です。

旬月 神楽 展覧会オリジナルスイーツ

総裁賞受賞作《花文大鉢「椿」》をイメージしたオリジナル和菓子をご用意します。

期間限定：2月15日(土)～23日(日)[1日15食限定]

場所：3階ティールーム



工芸作家の小品販売

日本工芸会会員の作品を、会期中、3階ミュージアムショップで販売します。

一点ものの作品をお手頃な価格でご準備しております。

子どもガイドブック『工芸技法キャラクター図鑑』

《友禅BOYS》、《鍍金ショコラティエ》...さまざまな工芸の技が、愉快でちょっと変わったキャラクターに変身！工芸技法をわかりやすく解説した子供向けガイドブックを無料で配布します。ガイドブックに掲載された作品を全部見つけて、オリジナルキャラクターカードをゲットしよう！

対象：小・中学生

※大人の方もご参加いただけます。



press release



【翻訳アプリ使用可能コーナー(多言語対応)】

外国からの観光客などへの配慮として、展示室内の数か所に受賞作の解説文をまとめて掲示し、スマートフォンの翻訳アプリを使用できるコーナーを設置します。

【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

【開催概要】

メインタイトル：第66回日本伝統工芸展

英語名：The 66th Japan Traditional Kōgei -Art Crafts- Exhibition

会期：令和2年2月13日(木)～3月1日(日) 会期中無休

開館時間：午前9時～午後5時(金曜日は午後7時まで)

※2月13日は午前10時から ※入場は閉館の30分前まで

料金：一般 700(500)円 高・大学生400(200)円 ※中学生以下無料

※()内は前売り・20名以上の団体料金


※学生券をご購入・ご入場の際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と
介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

前売券販売所：前売券は広島県立美術館、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画材店・画廊、
ゆめタウン広島などで販売しています。

開催クレジット

主催：広島県立美術館／NHK広島放送局／朝日新聞社／(公社)日本工芸会

助成：令和元年度文化庁補助事業 

協賛：マツダ／大田鋼管／ヒロタニ／ヒロテック

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail：iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 岡地 智子

広報担当：総務課 一色 直香、弘津 かおる